



一関市立藤沢中学校 学校通信

# 夢に向かって

い き すい し やくしん  
為己 遂志 躍清

R 6 . 1 . 26

NO. 19

文責：学校長

## 信華 ～思いやりを行動に～

能登半島地震発災からもうすぐ1か月になります。被災の状況が少しずつ明らかになる中、全国からの支援も広がってきています。さて、本校では生徒会スローガン「信華～思いやりを行動に～」のもと生徒会を中心に藤沢中学校の思いを「行動」に移し始めています。昨年、一関地方では初となる JRC「青少年赤十字」に加盟しました。その目的・精神（世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践を通して地域社会、国家、世界のために奉仕すること）にのっとり、生徒たちが自ら行動を起こし募金活動を実施することになりました。私達岩手県民は、東日本大震災の被災者であり、被災者の心に寄りそう心と知恵と力があります。あの時受けた全国からの支援を思い出し、知恵と心を、今届けたいと思います。

具体的には、1月29日（月）2月3日（金）の朝7：45～8：10まで昇降口で募金活動を行います。その募金を赤十字を通して、能登半島地震の義援金として寄付をしたいと考えております。ぜひ、ご家庭でも話題にして話し合い、ご理解をいただき、ご協力をいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

### 「誰かのために行動する藤中生」

藤沢中学校では、「誰かのために行動する藤中生」とうたっています。これは人のために行動したことが、感謝され、「他人に喜びを自分の喜びと感ずることができる」という大切な価値感です。

「利己」と「利他」という二つの言葉があります・利己は自分のことしか考えないこと。これは「こどもの生き方」です。中学生は心と体が大きく変化する時期です。中学生はそろそろ「大人の生き方」にギアをチェンジしなければならないのです。「利他」の考え方はとても価値の高い考え方です。「利己の心」から「利他の心」に成長し周りの人の喜びを自分の喜びに感じる人に成長してほしいと願います。例えば、ミカンが10個あります。3人で分けるときどう分けるか。3個ずつ分けて、残り1個をじゃんけんでという分け方もあります。でも、「利他」「大人の心」を考えたとき、2人に4個あげて自分は2個という分け方もできます。これが人を喜ばせる生き方となります。「こどもの生き方」から、譲ってあげた人の笑顔を見て喜ぶ生き方にステップアップすることははるかに価値あることなのです。これこそが「利他」「大人の生き方」です。他人の行動に感謝できる心、そして自分の行動で相手の喜ばせる。その姿を見て自分の喜びと感ずることができる、自分が誰かのために役立ったと喜びを感ずることができる人に成長してほしいと思っています。